

【小倉キリスト教会からのレポート】

小倉教会には、1年間に5-60人の新来者が礼拝に来ます。その中には、外国人もいますが、常にいるわけではなく、流動的であり、様々な理由で去っていったり、また、来会したりの繰り返しです。

5年前に私がホーチミンを訪れた時にVBTJ (Vietnamese Bible to Japan) 代表の大塩英人さんに会い、その働きを知りました。主な活動は、ベトナム語の聖書と三浦綾子さんの著作のベトナム語訳を日本の教会に備えるというものでした。宗派や教派を超え、日本にいるベトナム人にイエス様と出会ってほしいという願いから生まれた活動です。そして、小倉教会でも、無料配布されるのなら、いざこうとベトナム語聖書の備えを決定し、協力教会となりました。

ネパール人やフィリピン人と違ってベトナム人は日本人同様、決して英語が得意ではありません。若い人たちでも話せない人がほとんどです。そういうわけで母国語でみことばを読むことができる喜びは大きいだろうと思いました。成果はすぐにあらわれるものではありません。しかし初めて教会へ来たベトナム人との会話のきっかけを作ってくれることには、なっています。

また9月に、小倉教会パンフレットと共にVBTJ制作の「教会で日本について学びませんか？」というトラクトを北九州YMCA日本語学校に配付しました。そのトラクトは、自分の教会の情報を書き込めるようになっています。ですから、どの教会でも用いることができるトラクトです。大いに皆さんの教会でも活用していただければよいかと思います。下記のVBTJサイトへご連絡ください。

VBTJの活動を通して、NPO法人BFN(ブリッジズフォーネパール)という団体理事からの紹介で、2023年5月から、ネパール人留学生が来会しています。このように、VBTJの働きを通して人との出会いが与えられ、人が教会へ送られてきています。また、11月26日世界バプテスト祈禱週間礼拝でしたが、その日のランチ(1食200円)は、ベトナム人クリスチャンが、ベトナムラーメンを調理し、その売り上げの全額を世界宣教のために献金してくれました。このような広がりが少しずつ大きくなっていくことを期待しています。

このように小倉教会は、VBTJとのつながりを通して大きな恵みをいただいています。教会員一人ひとりが成長するチャンスをいただいたのです。人と人の関係がさらに広がって、北九州中のベトナム人、ネパール人をはじめとする外国人が日本の教会へとつながっていくことを願います。外国人の輪が広がり、日本の教会に新しい風を送り、教会が元気をいただくのです。

小倉教会は、無牧師にもかかわらず、信徒以外の方々がたくさん集まっています。これからもイエス様の導きがありますように、皆様にも心を合わせて祈っていただけましたら、感謝です。共に歩んでまいりましょう。

VBTJ(Vietnamese Bible to Japan)ウェブサイト <https://www.vbtj.org>

日本バプテスト小倉キリスト教会
大庭博子